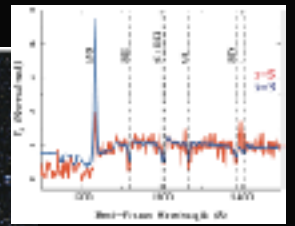
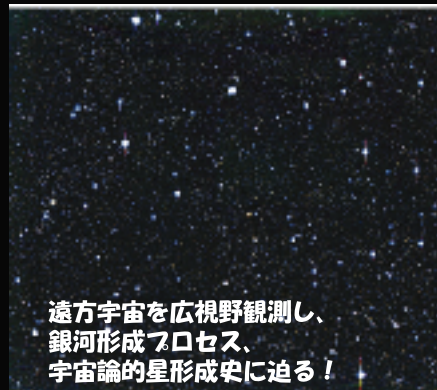
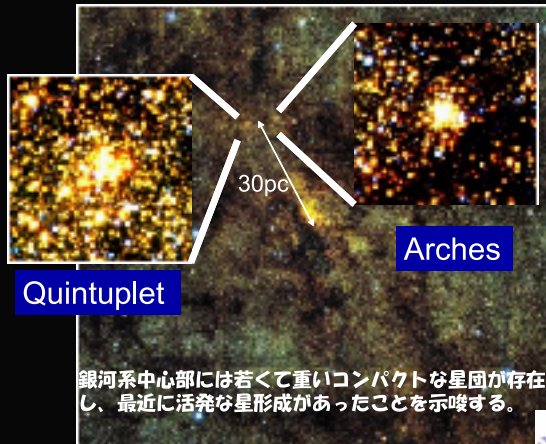


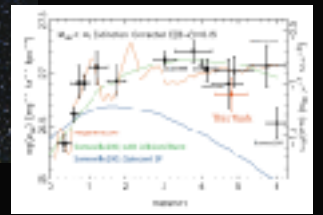
宇宙物理学教室

銀河・観測装置グループ

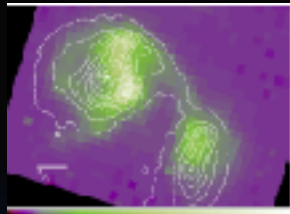
舞原俊憲(教授:513号室:maiara@kusastro.kyoto-u.ac.jp)・長田哲也(教授:505号室:nagata@kusastro.kyoto-u.ac.jp)
 太田耕司(助教授:407号室:ohta@kusastro.kyoto-u.ac.jp)・岩室史英(助教授:401号室:iwamuro@kusastro.kyoto-u.ac.jp)
 菅井肇(助手:511号室:sugai@kusastro.kyoto-u.ac.jp)・富田良雄(助手:516号室:tomita@kusastro.kyoto-u.ac.jp)



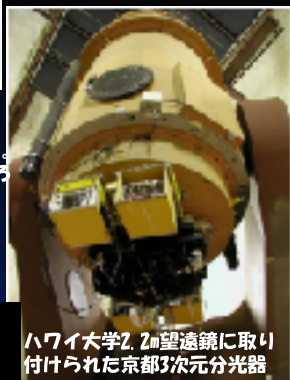
約120億年前の宇宙に発見された原始銀河のスペクトル



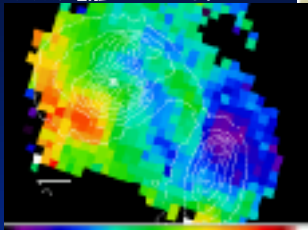
約130億年前から現在に至るまでの星形成史



白い等高線が連続光分布、つまり衝突している2つの銀河(左上と右下: NGC 6090)を表す。カラーイメージの白っぽいところが電離ガスからの放射が目立つところ。そこでは大量の星々が生まれ、若い星々が放射する紫外線によって、まわりにあるガスは電離されている。



ハワイ大学2.2m望遠鏡に取り付けられた京都3次元分光器



ドップラー効果を利用して調べたガスの運動(青が私達に近づく向きへの運動、赤が遠ざかる向きへの運動を表す)

本グループでは国内外の望遠鏡を用いて、以下のようなテーマに関する観測的研究を行っています。

- ・銀河系及び銀河での星間ガスの存在状態と星形成過程
- ・クエーサー・AGNの宇宙論的進化
- ・原始銀河探索とその諸性質

またこれらに関係して、以下の装置・望遠鏡の開発、建設を進行・計画中です。

- ・すばる望遠鏡第二期観測装置FMOS
- ・京都3次元分光器(3D II)
- ・京都大学3m級望遠鏡計画
- ・チリ・アタカマ望遠鏡

オープンラボ

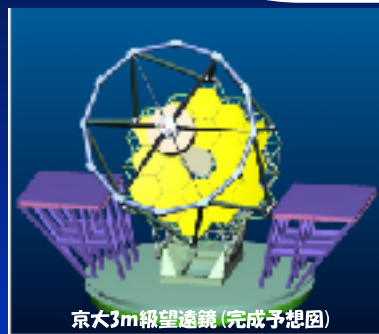
スタッフによるミニ講演会

時間:午前10:45-12:00、午後13:30-14:45

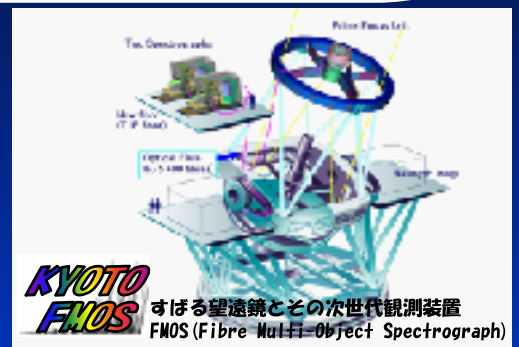
場所:4号館4階、414号室

合同見学ツアー(屋上望遠鏡、装置開発現場)

12:30に4号館4階414号室に集合(所要時間30分程度)



京大3m級望遠鏡(完成予想図)



KYOTO
FMOS

すばる望遠鏡とその次世代観測装置
FMOS(Fibre Multi-Object Spectrograph)